

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	251	学校名	仙台市立鶴が丘中学校	校長名	洞口 乃
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

「SDGs について学び, 地域・未来のために考え, 実践する」

2 取組の紹介



- 総合的な学習の時間「味噌づくり体験」
- 総合的な学習の時間「鶴が丘中学校版SDGs BOOKの作成」
- 理科「自然環境の保全のために, 科学的根拠をもとに考える」
- 生徒会ボランティア活動「つる坊ランティア」

○ 味噌づくり体験

総合的な学習の時間に, 仙台大学附属明成高校の協力の下, 味噌づくりを体験しました。食べ物が完成するまでに様々な手間がかかっていることを知り, 日本や世界の食糧事情についても学びました。



○ 鶴が丘中学校版 SDGs BOOK の作成

総合的な学習の時間に, SDGs の 17 項目全ての目標についてグループごとに Chromebook を使って調べ, 学級や学年で発表会を実施しました。また, 全 17 項目を網羅した「鶴が丘中学校版 SDGs BOOK」を作成し, お互いが調べた内容を読み合うことで, 理解を深めました。

○ 自然環境の保全のために

理科の授業の中で外来生物の問題について考えました。外来生物の生活範囲拡大によって日本固有の生物種の減少が深刻化している今, 「外来生物の駆除を積極的に実施するべきか」について議論し, 対話的な学びを通して様々な意見に触れながら, 自然環境の保全に向けての意識を高めました。

○ つる坊ランティア

鶴が丘中学校では, 地域交流活動の一環として, 学区内の落ち葉拾いを通して, 自分たちの住む地域の美化活動を行っています。活動の際には, 生徒会執行部を中心にボランティアを募り, 「つる坊ランティアチーム」を結成しました。今年も, 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 地域の方々と一緒に活動することはできませんでしたが, 自分たちの住む地域のため, 自分たちの通学路の安全のために活動することができました。



3 取組の成果

SDGs について各項目を学んだうえで, SDGs を意識しながら環境について考える活動を行ったことで, 生徒の興味や関心が高まり, 自分たちができることについて深く考えることができました。味噌づくり体験では, 食べ物に対する考え方を見つめ直す良い機会となり, 体験後は給食の残食が減りました。

また, 「つる坊ランティア」活動は, 生徒会執行部を中心に生徒の自主的な活動として定着していますが, これらの活動により, 自分たち中学生が地域を活性化させる力があることを実感したように感じます。地域の方々に支えていただいている中学生ですが, 逆に地域の方々に恩返しをしながら地域を支える経験が, 中学生の心身の成長に確実につながっています。